

# 景況調査

(平成30年10月～平成30年12月期)

平成30年10月～12月期の守山企業景況調査の結果は、次の通りである。調査結果はDI指数(景気動向指数)を用いて示している。

平成30年10月～12月期の調査結果では、業況、採算、資金繰りの3指標の数値が上昇した。

## 〈業況〉

業況DIは▲13.6で前回調査の▲15.8から2.2ポイント上昇した。業種別では、小売業▲37.5(前回調査比▲18.8)、製造業16.7(前回調査比+7.6)、建設業▲36.4(前回調査比+3.6)、サービス業▲6.3(前回調査比+18.7)、卸売業25.0(前回調査比±0)と製造業、建設業、サービス業で上昇した。

1月～3月期見通しは全体で▲14.0であり、わずかに数値

は低下している。

## 〈売上高〉

売上高DIは▲3.4で前回調査の1.8から5.2ポイント低下した。業種別では、小売業▲37.5(前回調査比▲43.8)、製造業41.7(前回調査比+23.5)、建設業▲36.4(前回調査比▲16.4)、サービス業0.0(前回調査比+6.3)、卸売業75.0(前回調査比+50.0)であり、小売業、建設業が低下した。

1月～3月期見通しは全体で▲15.3となっており、低下が見込まれている。

## 〈採算(経常利益)〉

採算(経常利益)DIは▲10.3で前回調査の▲22.8より12.5ポイント上昇した。業種別では、小売業▲25.0(前回調査比▲6.2)、製造業18.2(前回調査比+36.4)、建設業▲45.5(前回調査

比+4.5)、サービス業▲6.3(前回調査比+18.7)、卸売業50.0(前回調査比+25.0)で小売業以外の業種で上昇した。

1月～3月期見通しは全体で▲15.5であり低下の見通しである。

## 〈資金繰り〉

資金繰りDIは5.8で前回調査の▲8.9から14.7ポイント上昇した。業種別では小売業▲6.7(前回調査比▲0.4)、製造業0.0(前回調査比±0.0)、建設業18.2(前回調査比+48.2)、サービス業8.3(前回調査比+14.6)、卸売業25.0(前回調査比+25.0)であった。

1月～3月期見通しは全体で▲5.6であり、今回調査実績から低下している。

## 〈その他の意見〉

・消費税up、外国人増加、技術革新などにより従前の常識が常識でなくなっていく感じがする。  
・仕事はあるが人手不足

